

そのキモチ 一緒にカタチに しませんか？

- ✓ いいアイデアがあるのにうまく形にならない
- ✓ 製品のPR、ブランド化がしたい
- ✓ 他企業と連携して新商品を開発したい

連携事例は裏面へ

中央会ってどんな組織？

組合等の設立や運営あるいは中小企業の経営について
ご相談に応じ、多種多様な展開をしております。

つながることで、大きなチカラ



新潟県中小企業団体中央会

Niigata prefectural federation of Small Business Association

共同受注事業・官公需受注

グループ・組合を窓口として受注を受け、それを各社に振り分けることを共同受注事業といいます。

国・県・市町村等官公庁から受注を受けることを官公需受注といいます。各々、メリットや注意点等をみながら運営することが重要です。

組織のメリット・デメリット

任意グループ

メリット

- ・グループ設立・解散・管理が容易
- ・認可・許可が必要ない

デメリット

- ・権利関係が不明確で、原則代表者個人名義となる。
- ・法的根拠がない。

事業協同組合

メリット

- ・法的な組織であり、中央会や行政等の補助金・支援策がある。
- ・法的な信用力がある。

デメリット

- ・許可・届出等が必要。
(中央会のサポートあり)
- ・法人税の支払いがある
(各種特例あり)

その他のポイント

・価格の相談はカルテル(独占禁止法)になる可能性あり

独占禁止法第22条各号の要件を備え、かつ、法律の規定に基づいて設立された組合の行為については、独占禁止法の適用が除外される。→事業協同組合

・法人格のない団体との契約は、争いが起きると根拠がない

できる限り社団法人に準ずべきもの????判例では、権利能力なき社団や匿名組合等いくつかあり

・法人税・消費税の取り扱いに注意

税法上定められた34事業に規定される収益事業を行っている場合、任意グループでも申告義務があります。消費税インボイス制度の適用で、適格請求書発行事業者にならないと、発注先が消費税の仕入税額控除をできなくなるかもしれません。

※興味・関心のある方は
新潟県中小企業団体中央会まで
ご相談ください。

新潟県中小企業団体中央会

☎ 025-267-1100

